

農村文化の伝承を通じた農村コミュニティの強化(伝統文化の継承)

「農村文化の伝承を通じた農村コミュニティの強化」が多面的機能の増進を図る活動としてメニューに入っています。伝統文化の復活や継承によって地域の絆を強めましょう。



Q 交付金を使えるのはどのような活動ですか？

A 「文化の伝承を通じた農村コミュニティの強化に資する活動」として例示されているものは以下のとおりです。

- ①農村特有の景観や文化を形成してきた伝統的な農業技術
- ②農業に由来する行事の伝承 等

「どんなふうに使われるかは地域の裁量」とされていることから、該当する活動は、地域の実情によって様々であると考えられます。最近では、地域の伝統行事の担い手が少なくなり、準備において一部の人たちに過重な負担がかかることも少なくありません。この交付金では行事の準備に日当を払うこともできるため、これによって準備への参加も呼びかけやすくなると思われます。交付金を有効に使って、地域の農業に由来する行事の継承や伝統文化の伝承を通じた農村コミュニティの強化を図って下さい。なお、政教分離の観点や税金による交付金であることに十分留意することが必要です。市町担当者にご相談くださいようお願いいたします。

神楽 (かぐら)

多くの神話が残る石見の国から伝わった神楽、古くは京都地方にルーツをもつ神楽、また地域の人々によって創作され、受け継がれている神楽など、その生い立ちは様々。現在では各地で多様な神楽となって継承されています。(写真：岩国市向峠神楽保存会)



神舞 (かんまい)

各地区で毎年または数年ごとに奉納する神舞は、村内円満、五穀豊穡、子孫繁栄、悪魔祓い等を祈念し、庶民文化を支えてきました。先人達の意を深く受けとめ、その伝統的な由来と地域の歴史を長年にわたり継承していくことは意義深いものです。(写真：田布施町大波野神舞)

サバー送り (虫送り)

山口県の北浦では、田植えが完了すると、ワラ製の騎馬武者人形がつくられ、虫よけ祈祷神事が行われます。住民がリレー方式で地域外に送り出していくことで、稲の害虫を追い払うものです。害虫を神格化し具現化するの珍しい形態で貴重な行事として受け継がれています。(写真：長門市東深川「サバーサマ」「サネモリサマ」)



がんばろうニッポン! がんばろう農業農村!



農村環境の未来を考える研修会 vol.9



オープニングセレモニー
むかたお
岩国市 向峠神楽保存会

日時 平成 28 年 11 月 16 日 (水)
13:00~16:00

場所 山口市吉敷下東 3-1-1
山口県総合保健会館
2F 多目的ホール 800 席
2F 第1研修室 210 席 (ライブビューイング)

主催 山口県日本型直接支払推進協議会
TEL.083-933-0755
<http://www.tamenteki-yamaguchi.jp>

■ 情勢報告



中国四国農政局 地方参事官
久保 弘

■ 事例発表 1

テーマ 「活動組織の広域化推進について」



長門市農林課
耕地係長 市川 裕之

■ 事例発表 2

平成 27 年度 中国四国農政局長最優秀賞

テーマ 「ふるさと彩生 シバザクラが咲いてみんな元気になった!」



周南市大道理 向道環境保全会
代表 井上 正幸

■ 基調講演

テーマ 「ニッポンの農村が教えてくれること」



地域文化ライター
石井 里津子